

ライラック

【第 139 号】

甲府昭和高校 生徒指導部

令和2年2月28日



甲府昭和高等学校第34期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。甲府昭和高等学校において3年間の高校教育を修了され、それぞれの進路に向かって羽ばたかれる240名の卒業生の皆さんに心から祝福を贈らせていただきます。また、保護者の皆様におかれましては、心配や不安等も多々あったとは存じますが、卒業を迎えたお子様の力強く、逞しい姿を見られ、頼もしく成長したと実感されているのではないかと拝察いたします。心よりお祝い申し上げます。

さて、生徒指導係では、この1年「さわやか教育の推進」「学校安全の推進」「教育相談の充実」を重点項目として取り組んできました。全校生徒には、「チャレンジ・ザ・REIWA」を掲げ、具体的な目標値の達成を目指し、学校生活の充実を図りました。生徒は各分野で真摯に取り組み、「交通事故件数」や「5分前遅刻」では今までの記録を上回る成果を上げました。生徒一人ひとりがこの取り組みを通して、自ら問題意識を持ち、その解決を目指して仲間と協働して主体的に行動する姿勢を見せてくれました。今後も校訓「自主創造」の精神を大いに発揮し、活躍することを期待します。

「チャレンジ・ザ・REIWA」

☆交通事故・・・全校で年間20件台に減らそう！ 達成！！

☆5分前遅刻・・・学年で年間40件台を目指そう！ 1年生45件

☆1カ年皆勤・・・クラスで60%以上を目指そう！ 6クラスが達成

☆交通事故 交通事故 22件（2月26日現在） ～過去、最も少ない事故件数～

本校の事故発生件数は、平成23年度に過去最大の66件を記録した後、27年以降は40件台を推移してきました。昨年度は例年よりも10件以上少ない31件に減少し、本年度は現在まで22件という例年の半分ほどの件数に減少しています。このことは、生徒の交通安全に対する高い意識のあらわれだと感じています。一方、違反については、H28年度以降10件以内を推移してきましたが、本年度は現在のところ11件となっており、ここ数年で最も多い違反件数となってしまいました。

(1) 月別で見ると、年度当初に9件（昨年比+3件）と多かったものの、6～7月に0件（昨年比-10件）だったことと、例年、秋口から増加する傾向が本年度は10～11月に1件（昨年比-6件）のみであったことが大きく影響し、過去最少の22件となっています。(4) 事故内容では、「バイクと車」による事故が2件（昨年比-9件）と大きく減少した一方で「自転車と車」による事故が17件（昨年比+3件）に増加してしまいました。また、「もらい事故」が事故件数の半数にあたる11件（自転車：11件、バイク：0件）発生し、要因は交差点内の事故と左折車に巻き込まれる二つのケースでした。あらためて交差点は危険であり、交差点内の走行（危険回避できるスピードと運転技術）に十分留意することや、状況に応じて危険を察知する予測力が重要であることを痛感させられました。

違反については一時停止違反が8件（昨年比+5件）と最も多く、「自分は止まったつもり」でも、実際は停止線を超えていた場合や脚を着いていない場合等の理由で指導されるケースが目立ちました。事故・違反は気をつけていても遭遇する可能性があります。交通事故・違反の防止のため、「気の緩みや」「慣れ」「たぶん大丈夫」等の主体要因に関する意識を更に高め、究極の目標である交通事故・違反「0」を目指しましょう。

令和元年度交通事故・違反の具体的状況 甲府昭和高等学校

1 年別推移

区分/年度別	H 28	H 29	H30	R1
事故	42	46	31	22
違反	9	3	6	11

交通事故の要因
・主体要因
・環境要因
・車両要因

ハインリッヒの法則（労働災害の経験則）

1:29:300

1件の大きな事故・災害の裏には、29件の軽微な事故・災害、そして「ヒヤリ・ハット」がある。

※令和元年度の数値は4月1日から令和2年2月26日までのものである。

2 令和元年度の発生状況 ※令和元年4月1日～令和2年2月26日

(1) 月別

区分/月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事故	3	6	0	0	2	4	0	1	3	2	1	0	22
違反	1	1	1	0	0	1	1	1	3	1	1	0	11
H30事故	4	2	7	3	1	2	3	4	2	1	1	1	31

(2) 曜日別

区分/曜日別	月	火	水	木	金	土	日
事故	5	4	0	6	7	0	0
違反	4	1	2	0	1	1	2
H30事故	2	3	9	7	5	4	1

(3) 時間帯別

区分/時間帯別	朝	昼	夕方	夜
事故	8	3	7	4
違反	0	4	5	2
H30事故	15	3	9	4

(4) 事故内容

内容	R1	H30
バイクと車	2	13
バイクと自転車	1	1
バイクと歩行者	0	0
自転車と車	17	14
自転車と自転車	1	3
自転車と人	0	0
バイク自損	1	0
自転車自損	0	0
その他	0	0

※最初の記載の乗り物が本校生徒

(5) 違反内容

内容	R1	H30
一時停止違反	8	3
二段階右折違反	1	1
通行区分違反	0	1
速度超過	1	1
けん引	0	0
その他	1	0
自転車違反	0	0

(6) けが

内容	R1	H30
入院	1	0
骨折	2	1
軽症	8	19
ケガなし	11	11

(7) 学年別

区分/学年別	1	2	3
事故	7	8	7
違反	1	5	5
H30事故	7	15	9

(8) 男女別

区分/男女別	男	女
事故	11	11
違反	6	5
H30事故	11	20

☆5分前遅刻 令和元年度（4月5日～2月26日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期	累計
1年合計	0	1	3	3	6	6	19	8	5	7	4	2	0	26	45
2年合計	7	1	1	6	9	5	29	7	2	7	5	4	0	25	54
3年合計	2	2	1	9	8	9	31	10	0	9	16	4	0	39	70
全体合計	9	4	5	18	23	20	79	25	7	23	25	10	0	90	169

平成30年度（4月7日～3月24日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期	累計
1年合計	8	3	2	7	6	10	36	3	12	8	7	10	2	42	78
2年合計	3	3	2	3	8	3	22	7	5	12	6	7	5	42	64
3年合計	5	5	0	1	4	1	16	7	5	5	5	3	0	25	41
全体合計	16	11	4	11	18	14	74	17	22	25	18	20	7	109	183

全校合計169件は歴代1位 3年生の3か年皆勤者97名は歴代最多

2月26日現在の全校合計169件は今までで最も少ない件数です。（H28、H30：183件）生徒一人ひとりの基本的な生活習慣の定着、5分前行動への意識が好結果につながっていると思います。

特に1年生の45件は、歴代3番目の記録になります。（歴代1位はH27年度卒業の30期生：37件）まだ、3月を残していますが可能性が大いにあるので期待します。3年生は70件（昨年比+6件）で最も多かったのですが、3年間の合計件数185件は歴代2位の記録でした。（歴代1位は33期生：159件）2年生は、昨年度の78件から54件へと大きく減少し、成果を上げました。また、通常「5分前遅刻」は前期よりも後期に件数が増える傾向（寒さ等の影響）がある中で、前期より件数を減少させており、来年度は、最終学年としても大いに期待したいと思います。

☆1ヶ年皆勤 6クラスが達成！！（1-3、1-4、2-5、3-1、3-3、3-6）

全体では、現時点での1ヶ年皆勤者数が全校生徒数の53.8%を占めました。全校生徒の半数以上が皆勤者であることは、県内の学校でもなかなかないと思います。学年別に表すと1年生：57.7%、2年生：48.3%、3年生が55.4%でした。特に3年生は、3か年皆勤賞を97名（学年の40%）が受賞し、歴代の最多記録を樹立しました。「おめでとうございます。」

クラス別では6クラスが60%以上を達成しました。特に3年3組は74.3%を記録し、クラスの29名が皆勤者でした。続いて1年3組が72.5%、3年6組が69%でした。何気ないことかもしれませんが、毎日登校できるということは心身ともに健康であることだと思います。勉強や部活動で成果を上げるための第一歩が学校へ登校することであり、このことが土台となって皆さんの成長があると思います。悩みや不安はあると思いますが、健康に留意して過ごしましょう。



「日々の生活に感謝しよう！」

生徒指導部副主任 田辺英仁

今日は、皆さんは日々の生活に感謝の気持ちを持っていますか、毎日食事をとることができること、学校に通って勉強ができること、部活動を通してやりがいや生きがいを持った生活ができること、当たり前のように携帯電話を持っていること、五体満足に生活できていること、常にだれかに助けられ、支えられて生きていることに感謝していますか。その人たちにどうやって恩返しをしたらよいのでしょうか、一番は明るく元気に毎日の生活を送ることです。厚生労働省の報告によると15～19歳の死因順位の上位は「不慮の事故」で全体の30%を超えており、特に男子は1位で35%、女子は2位で23%になっています。その多くは交通手段としての自転車や原動機付自転車による交通事故が原因です。本校においても自転車・原動機付自転車での通学者がほとんどであり、毎年、交通安全教室やバイク実技講習会を実施するなど事故防止策を講じていますが、残念なことに多くの事故が発生してしまっているのが現状です。事故の原因のほとんどが、スピードと前方不注意です。事故を起こすと自分自身が傷つくだけでなく、相手を傷つけたり時には賠償責任を負うことになり家族に迷惑をかけることになってしまいます。自分自身の安全のため、支えられている人たちのためにも日々の生活に感謝して交通安全に心がけましょう。